



自動代替ルーティングの設定

- [自動代替ルーティングの概要, 1 ページ](#)
- [AAR 設定タスク フロー, 1 ページ](#)

自動代替ルーティングの概要

ロケーション帯域幅の不足により、コールがブロックされている場合、PSTN または他のネットワーク経由でコールを自動的に再ルーティングするための自動代替ルーティング（AAR）を設定します。自動代替ルーティングにより、発信者は通話を終了して着信側にリダイヤルする必要がなくなります。

AAR 設定タスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	クラスタ全体の AAR を有効にする, (2 ページ)	クラスタで自動代替ルーティングを有効にします。
ステップ 2	自動代替ルーティングの設定, (2 ページ)	自動代替ルーティング（AAR）を設定し、その場所の帯域幅が不十分だったことが原因で Cisco Unified CM がコールをブロックした場合に、代替番号を使用することによって、PSTN またはその他のネットワークを通じてコールを再ルーティングします。

クラスタ全体の AAR を有効にする

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- ステップ 2** [サーバー (Server)] ドロップダウン ボックスのノードを選択します。
- ステップ 3** [サービス (Service)] ドロップダウン リストから、[Cisco Call Manager] を選択します。
- ステップ 4** [クラスタ全体のパラメータ (システム - CCM 自動代替ルーティング) (Clusterwide Parameters (System - CCM Automated Alternate Routing))] 領域で、[自動代替ルーティングの有効化 (Automated Alternate Routing Enable)] パラメータを [True] に設定します。
-

次の作業

[自動代替ルーティングの設定, \(2 ページ\)](#)

自動代替ルーティングの設定

場所の帯域幅不足のため Cisco Unified Communications Manager がコールをブロックした場合に、代替番号を使用して、PSTNまたはその他のネットワークを通じてコールを再ルーティングする自動代替ルーティング (AAR) を設定します。

はじめる前に

[クラスタ全体の AAR を有効にする, \(2 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [AAR グループ (AAR Group)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかのオプションを選択します。
- 新しい AAR グループを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。
 - 既存の AAR グループの設定を変更するには、検索条件を入力して [検索 (Find)] をクリックし、結果の一覧から AAR グループを選択します。
- [AAR グループの設定 (AAR Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [名前 (Name)] フィールドに、新しい AAR グループに割り当てる名前を入力します。この名前には、最長 20 文字の英数字を指定でき、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせることが可能です。

ウィンドウが更新され、その他のフィールドが表示されます。

ステップ 4 [AAR グループの設定 (AAR Group Configuration)] ウィンドウの各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、[オンラインヘルプ](#)を参照してください。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

これはオプションです。AAR をハントパイロットと連動させる方法については、次のセクションを参照してください。 [ハントパイロットの設定タスクフロー](#)

